

平成 19 年度「科学技術連携施策群」のとりまとめ方針について（案）

- 1 . 「科学技術連携施策群」（以下「連携群」という。）については、平成 17 年度より開始され、順次、連携群及び補完的課題の追加がなされてきたところ。
本年度は、平成 17 年度に開始された連携群のうちの一部で、補完的課題（3 ヶ年）が終了することにより連携群としての役割に区切り。
そのため、本年度は、昨年 11 月にとりまとめられた「科学技術連携施策群の成果及び今後の課題と進め方」（中間報告）も踏まえ、本年度で補完的課題が全て終了する連携群（3 群）についてとりまとめを行う予定。その後は、順次、補完的課題が終了する連携群について毎年度とりまとめ。
- 2 . 具体的には、同中間報告の目次構成案を踏まえ、次ページの事項について簡潔に整理。
なお、本年度より補完的課題が開催された連携群（6 群）については、来年度で補完的課題が全て終了する連携群（5 群）のとりまとめと併せて、中間的なとりまとめ（中間報告）を行う予定。
- 3 . スケジュールについては、まず、本日開催する分野別推進戦略総合 P T において標記とりまとめ方針の確認を行う。次に、来年 2 月～4 月にもとりまとめ作業を行い、その後に開催される（6 月頃：補完的課題の年度報告書が文科省に提出されるのが 5 月末予定のため）分野別推進戦略総合 P T 等において報告。

目次構成（案）

- 本年度で終了する群 -

1. 科学技術連携施策群について

- (1) 制度の目的と手法
- (2) 連携施策群の対象テーマ
- (3) 推進体制
- (4) 補完的に実施すべき研究開発課題（補完的課題）の実施

2. 各科学技術連携施策群の活動と成果、研究目標の達成状況の評価

[各施策群毎に記載]

- (1) 連携施策群の目標
関連分野等における当該連携施策群の位置付け（戦略重点科学技術との関係、政策目標との関係含む）及び明確な研究目標（方向性と具体的成果、評価指標）を記載するとともに、目標をたてた背景（開始時の状況と問題点等）についても併せて記載
- (2) 連携施策群の活動
府省間等の連携活動
 - ・ 連携システム及び連携活動の総括
マッチングファンドや合同検討委員会の設置、関連技術マップ等の作成・共有化・活用、連携促進のための関連施策、地域における連携活動等の具体的な活動成果を記載
連携の最終的な俯瞰図（本連携群に登録された各府省の施策間、及び補完的課題との関係を俯瞰した図）を含む
連携施策群に含まれている府省施策の一覧表（施策名、施策期間、担当府省、各年度の予算額、政策・成果目標及び目標達成状況等記載したもの）を含む
 - 補完的課題の成果概要
 - ・ 課題の概要
 - ・ 成果の概要
成果の詳細（研究成果報告書ではなく数頁程度のものを想定）については別途資料を添付
- (3) 連携施策群の成果と研究目標の達成状況の評価
連携施策群としての具体的な成果を記載して研究目標（方向性と具体的成果、評価指標）の達成状況について評価するとともに、目標どおり（又は目標以上に）達成された背景や理由等を記載
上記と併せ、残された課題や問題点、残された原因／理由等についても具体的に記載
【成果の例】新たに付加された価値・成果、調整により改善を行った施策、新たに連携を行うこととなった施策、不必要な重複の排除を行った施策、予算の効率化（削減）を行った施策、成果の社会への還元加速化（開発時期の早期化等）等
【残された課題や問題点等の例】関係者間での情報交換や交流は進んだものの、予算の効率的・効果的な利活用や開発時期の早期化といった情報交換や交流以上の具体的成果が見られなかった 等
- (4) 今後の課題
今後の連携方策を含めて記載
残された課題や問題点等に対して考えられる対応策についても記載
- (5) 参考
 - ・ 全体をまとめたポンチ絵を作成
目標 - 活動 - 成果と研究目標の達成状況の評価
主な具体的成果の事例（1つ以上）

3. とりまとめ（残された課題含む）

今後の進め方、残された課題等を含めて記載